



## 卒業式の練習に余念がありません

校長 木下 幹司

3月に入りました。3月4日の愛校作業を終え、6年生が学校に来られるのも、遂に秒読み段階に入りました。6年生は毎日体育館で呼びかけや返事校長先生から証書をいただく練習に励んでいます。

舞台からの入場練習では、整然と物音一つたてずに神妙な面持ちで行っています。着席してからは、背中に一本の棒が入っているかのような姿勢の良さです。今年の卒業式は、保護者(1名)と在校生(5年のみ)が参列できます。

6年生の姿勢は、5年生への見本になっています。当日までに、体調等をしっかり整えて、全員で卒業していきたいものです。

尚 当日の様子は、3/30 22:00～ 知多メディアス 122ch で放映されます。



整然と着席する卒業生

## 3 / 4 愛校作業(6年)



今年の愛校作業は、トイレ換気扇掃除、配膳台磨き、体育館の掃除、ワックスがけ、放送室背景づくり、エプロン修繕、なわとびジャンプ台色塗り、側溝さらい、石灰庫体育倉庫の掃除、駐輪場の整備、草むしり等、とてもたくさんの作業を行いました。

6年生の全員が、一生懸命、感謝の気持ちをこめて学校を美しくしてくれたことに、とても感心しました。神田小学校への感謝の気持ちを具体的な行動で表してくれた6年生は、本当に素晴らしいと思います。

神田小学校校訓、“自ら求めて たくましく 生き抜く子”そして“役立つ人”を見事に表してくれました。みんなで力を合わせて、素晴らしい卒業式を迎えましょうね。明日はきっと、いい日になると信じて。

# 3 / 3 6年生を送る会 ア・ラ・カルト



今年の6年生を送る会は、密を避けるために、各学年がタブレットで事前に撮影した動画を、全校に配信する形で実施しました。アナログ回線しかない本校では、ICT機器を用いて動画を全校配信するには工夫が必要です。初めてのことばかりで、うまくいかないことも多々ありましたが、多くの方々の協力で無事終了しました。児童や先生方の深い思いは、卒業生に伝わったと思います。ご協力ありがとうございました。

## 3/8・9 校長先生の最後の授業(6年)

昨年は、臨時休業のため実現できなかった校長先生の最後の授業が、3/8(6-1)、3/9(6-2)に無事実施することができました。

6年生の思い出のアルバムに始まり、夢とは、幸せに生きるとは、ということなのか、校長先生と6年生が語り合いました。

神田小学校には、“役だつ人”という校訓があります。1人でも多くの人の役に立つことが、幸せになる近道であることに気づきました。

最後に、「どんな仕事であっても、私たちは、仕事を通して人の役に立つことができる。」まず、自分にしかできないことをできるまでがんばること、そして、コミュニケーションスキルを身につけ、世界中の国々の人と交流して、考えを深めていってほしいとまとめられました。

神田小学校からは新幹線が見られます。神田小学校の上空は国際線の航路です。近い将来、神田小学校から、日本の首都東京へ、さらには世界へはばたいて行く人が増えることでしょう。卒業生の皆さんに幸あれ!!



### 神ちゃん日記



この1年は、コロナ禍で我慢を強いられました。子どもたちはもちろん、ご家庭でもたくさんのご苦労があったことと思います。しかし、悪いことばかりではありません。それは、人とつながることの大切さに、子どもたちが気づき始めたからです。「自分たちの番組を作りたい」とか、「TV朝会を首相会見風にしよう」とか、「屋外の運動行事を計画したい」とか、コロナ禍でも活動できる行事を、子どもたち自身が考え始めてきているからです。ひょっとしたら、変わっていないのは、私たち大人だけなのかもしれませんね。

本校ホームページは、令和元年9月1日より、<http://www.obu-c.ed.jp/kanda-e/>で運用しています。学校便りのカラー版はそちらでご覧ください。